

## 平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月19日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンワドー

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長新業態開発担当兼 管理担当 (氏名) 中村 勝憲

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成25年12月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年11月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	23,529	0.8	452	△35.0	496	△31.2	277	△28.8
25年2月期第3四半期	23,351	1.4	696	△0.5	721	3.7	389	116.7

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 408百万円 (13.1%) 25年2月期第3四半期 361百万円 (352.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	52.62	—
25年2月期第3四半期	73.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	19,007	5,597	29.4	1,060.15
25年2月期	17,104	5,251	30.7	994.69

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 5,597百万円 25年2月期 5,251百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年2月期	—	0.00	—		
26年2月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.8	1,000	11.4	1,100	13.0	550	5.1	104.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	5,280,000 株	25年2月期	5,280,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	528 株	25年2月期	528 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	5,279,472 株	25年2月期3Q	5,279,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3．継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4．四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年2月21日～平成25年11月20日）における我が国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって、生産・個人消費面に改善傾向が見られるに至りました。また、引続き円安・株高にあり、輸出環境の好転と相俟って業績を持ち直す企業が多くなり、景気回復の明るさが感じられます。反面、円安による輸入原材料の値上りや新興国経済の成長鈍化などの懸念要因もあり、実体経済の先行き不透明感は拭えない状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、4月にジョーシンサンワドー中央店がグランドオープンし、家電売場の充実を図ったほか、従来より推し進めている食品部門の強化・拡充策として、北海道地区4店舗、青森地区1店舗に業務スーパーを導入したほか、10月にはサンワドー業務スーパー浪岡店（青森市）、イエローハット三沢店（青森県三沢市）を新規出店し、お客さまの利便性向上に努めました。ホームセンター部門では、第3四半期に入り除雪機の早期予約セールやスタッドレスタイヤキャンペーン等の施策を行ったことに加え、降雪と同時に冬用の自動車関連用品、除雪用品、暖房関連商品、防寒衣料、長靴等の売上が急伸びしました。経費面においては、家電売場の増設及び食品部門強化に伴う人員増加と、冷凍・冷蔵設備等の増設によって、人件費、水道光熱費が増加しました。あわせて、新規出店・店舗改装等による減価償却費、修繕費、販売用消耗品費が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,529百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は452百万円（前年同期比35.0%減）、経常利益は496百万円（前年同期比31.2%減）、四半期純利益は277百万円（前年同期比28.8%減）となり、増収減益となりました。減益の要因は、主に食品部門の売上構成比の上昇による売上総利益率の低下及び店舗の出店や改装等による販売費及び一般管理費の増加によるものであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 「リビング」

「リビング」の売上高は6,549百万円（前年同期比4.6%減）となりました。春先の低温による暖房用品の特需や、新規に取り組んだ布団、マットレス等の寝具やソファが好調でした。その後、気温の上昇と共に、い草関連商品が好調に売上を伸ばしました。一方、長雨や台風の影響にて行楽用品が売れなかったことや、残暑が無かったことでのタオル等の動きが鈍ったほか、洗濯洗剤、仕上剤も売上を落としました。また、冬物商材に早い動きが見られたものの対応が遅れ、カーペット、カーテンが売上を落としました。その他、ティッシュ、トイレットペーパー等の紙製品類が為替の影響により値上がりし、販売数が減少したため売上を落としました。家電では猛暑の影響によりエアコンが売上を伸ばしたほか、大型石油暖房機、小型液晶テレビが好調に推移しました。しかし、昨年までの反射式ストーブ需要の反動減と電気料金の値上による電気ストーブが苦戦したほか、大型液晶テレビ、レコーダーの価格上昇で販売数が伸びず売上を大きく落とし、関連商品であるアンテナ、分波器等も不振でした。

この結果、セグメント損失は54百万円（前年同期は54百万円のセグメント利益）となりました。

#### 「食品」

「食品」の売上高は7,618百万円（前年同期比6.2%増）となりました。春先の低温による桜の開花時期の遅れや、大型連休期間の天候不順により、清涼飲料、お茶等の小型ペット飲料が不調でした。また、激化する競合店との価格競争に巻き込まれ缶飲料が売上を落としました。一方で、7月に入り気温の上昇とともに不調に推移していた冷蔵品、日配品が売上を伸ばしたほか、ビールや新ジャンルの酒類が好転しました。また、従来より進めている食品部門の強化策として、3月に大館店へ日配品・冷蔵品を新規導入するなど既存店の食品売場拡充や品揃え、価格等の見直しを行ったことにより、冷凍食品、菓子が好調に推移しました。さらに北海道では初となる業務スーパーを4月に本通店、上磯店、登別店、5月に砂川店、8月に青森東バイパス店にそれぞれ導入したほか、10月にサンワドー業務スーパー浪岡店を新規出店したことにより食品部門全体の売上を押し上げ前年を上回りました。

この結果、売上高は増収となりましたが、セグメント利益は新規出店・店舗改装等による販売費及び一般管理費が増加したため97百万円（前年同期比46.5%減）となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は5,105百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

「DIY」は、電動工具、先端パーツ、単管、セメント等が堅調に推移しました。一方で、昨年発生した雪害特需や竜巻被害による補修需要の反動減が見られ、住宅の屋根・壁等の修繕に使用する建築資材等が不調であり、補修に関連した工具も売上を落としました。また、7～8月にかけての季節商品ピーク時には、長雨及び局地的豪雨の影響により網戸関連が低調だったほか、7月下旬からの猛暑の影響により塗料等の屋外作業用品が売上を落としました。

「グリーン」は、春先の残雪や低温の影響により主力商品である花・野菜苗、用土、肥料、除草剤等で売上を落としました。一方で、季節商品の早期展開や新規商品の取り扱いにより売上確保に努めた結果、早期予約販売を行った除雪機で売上を大きく伸ばしました。また、降雪時の欠品防止に注力したことで、除雪用品、防寒衣料、防寒長靴等も売上を伸ばしたものの、主力商品の不振をカバーするまでには至らず期間中のDIY&グリーン全体としては減収となりました。

この結果、セグメント利益は206百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は3,018百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

「カー」は、春先の長引いた降雪と今冬の雪の降り始めが早かったことからスタッドレスタイヤ、アルミホイール、ワイパーブレード、スノーブラシ、不凍液や解氷剤等の冬季用品が売上を伸ばしました。スタッドレスタイヤ、アルミホイールは、早期予約セールやセット組販売を行い売上を伸ばしました。また、10月に新規出店したイエローハット三沢店も売上に寄与しました。反面、新車販売台数の減少傾向から夏タイヤ、レーダー、エンジンスターターの売上に響き、また、スマートフォンの普及や地デジ需要が落ち着いたことによりポータブルナビが売上を落としました。さらに、気温の変化が緩やかであったことからバッテリーの販売数も減少し、第2四半期連結累計期間までの落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。

「レジャー」は、テント、チェア、コンロ等の厳選商品を早期割引で販売したことにより売上を伸ばしました。また、健康器具、フィットネス用品等の新規商品が好調に推移しました。しかしながら、これまで順調だったバーベキュー関連商品では残暑が短かったことにより売上を落としたほか、主力の自転車は一部の軽快車、通勤用車は好調だったものの、全体的には販売ピーク時期の天候不順が客数に響き、売上を落としました。

この結果、セグメント利益は81百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

「その他」

「その他」の売上高は1,238百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,902百万円増加し、19,007百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,367百万円増加し、6,505百万円となりました。主に、商品及び製品が季節商品品揃え等により750百万円、受取手形及び売掛金が294百万円、及び現金及び預金が170百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加し、12,502百万円となりました。主に、投資有価証券が時価評価等により476百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,557百万円増加し、13,410百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、7,787百万円となりました。主に、短期借入金が約定返済等により1,215百万円、未払法人税等が272百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が仕入高増等により921百万円、1年内返済予定の長期借入金が787百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,476百万円増加し、5,622百万円となりました。主に、社債が470百万円減少しましたが、長期借入金が1,774百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、5,597百万円となりました。利益剰余金が214百万円、その他有価証券評価差額金が131百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.4%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	468,416	639,395
受取手形及び売掛金	311,122	605,984
有価証券	3,148	3,154
商品及び製品	4,112,017	4,862,962
繰延税金資産	95,719	91,244
その他	147,730	302,596
貸倒引当金	-	77
流動資産合計	5,138,154	6,505,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,142,299	2,206,283
土地	5,488,963	5,488,963
その他(純額)	272,466	466,316
有形固定資産合計	7,903,729	8,161,563
無形固定資産		
投資その他の資産	19,370	18,283
投資有価証券	942,208	1,418,293
繰延税金資産	57,049	7,671
敷金及び保証金	2,596,206	2,429,713
その他	455,439	474,463
貸倒引当金	7,525	7,675
投資その他の資産合計	4,043,377	4,322,467
固定資産合計	11,966,476	12,502,313
資産合計	17,104,631	19,007,574
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,015,706	3,937,672
短期借入金	1,765,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,139,225	1,927,017
1年内償還予定の社債	700,000	470,000
未払法人税等	285,650	13,497
賞与引当金	40,700	84,320
役員賞与引当金	14,200	10,990
ポイント引当金	87,695	89,744
その他	658,326	704,316
流動負債合計	7,706,504	7,787,558
固定負債		
社債	930,000	460,000
長期借入金	2,403,575	4,178,002
退職給付引当金	258,549	275,734
役員退職慰労引当金	77,960	68,000
資産除去債務	223,220	235,923
繰延税金負債	-	8,000
その他	253,362	397,316
固定負債合計	4,146,667	5,622,977
負債合計	11,853,172	13,410,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,648,335	3,862,784
自己株式	261	261
株主資本合計	5,099,904	5,314,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,555	282,686
その他の包括利益累計額合計	151,555	282,686
純資産合計	5,251,459	5,597,038
負債純資産合計	17,104,631	19,007,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
売上高	23,351,616	23,529,581
売上原価	18,386,669	18,657,650
売上総利益	4,964,947	4,871,930
販売費及び一般管理費	4,268,815	4,419,111
営業利益	696,131	452,819
営業外収益		
受取利息	3,834	4,110
受取配当金	10,166	13,223
不動産賃貸料	27,143	27,274
発注システム使用料	21,928	25,326
その他	35,304	36,047
営業外収益合計	98,378	105,983
営業外費用		
支払利息	62,605	52,647
支払保証料	4,988	3,166
その他	4,922	6,197
営業外費用合計	72,516	62,011
経常利益	721,993	496,790
特別利益		
固定資産売却益	143	823
特別利益合計	143	823
特別損失		
固定資産売却損	356	65
固定資産除却損	309	3,599
投資有価証券評価損	7,882	-
特別損失合計	8,548	3,665
税金等調整前四半期純利益	713,588	493,948
法人税、住民税及び事業税	360,462	212,232
法人税等調整額	36,778	3,914
法人税等合計	323,683	216,146
少数株主損益調整前四半期純利益	389,904	277,802
四半期純利益	389,904	277,802

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	389,904	277,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,488	131,130
その他の包括利益合計	28,488	131,130
四半期包括利益	361,416	408,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,416	408,932
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リビング	食品	DIY & グリーン	カー & レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,868,470	7,173,451	5,154,840	3,025,163	22,221,926	1,129,690	23,351,616	-	23,351,616
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,312	33	297	28,603	30,248	9,720	39,968	39,968	-
計	6,869,783	7,173,485	5,155,138	3,053,767	22,252,174	1,139,410	23,391,584	39,968	23,351,616
セグメント利益	54,956	182,585	245,538	82,306	565,387	14,952	580,340	115,791	696,131

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額115,791千円には、支払利息の調整額62,605千円、支払保証料の調整額4,988千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間売上に係る調整額5,446千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リビング	食品	DIY & グリーン	カー & レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,549,301	7,618,009	5,105,281	3,018,091	22,290,683	1,238,897	23,529,581	-	23,529,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,318	46	1,119	25,810	29,295	10,814	40,109	40,109	-
計	6,551,620	7,618,056	5,106,401	3,043,901	22,319,979	1,249,711	23,569,690	40,109	23,529,581
セグメント利益又は 損失( )	54,882	97,610	206,891	81,951	331,571	17,915	349,486	103,332	452,819

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額103,332千円には、支払利息の調整額52,647千円、支払保証料の調整額3,166千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額42,750千円及び当社グループ間売上に係る調整額4,768千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。